



石川のいいところは？



11月29日(水)、小学校の戸先生が、「ひろさき卍学」の一環として「石川っていいところ」という単元を作り、「石川の自慢をしよう」というテーマで研究授業(5年生総合的な学習の時間)を行いました。ほのぼのとした温かい雰囲気の中で行われ、子ども達全員が「石川のいいところ」を友達に伝えました。子ども達が理由をしっかりと付けて発表した「石川いいところ」は次のとおりです。子どもたちの感性に感心しました。

- ・大仏公園・大沢ねぶた・大沢ちびっ子広場・白鳥・石川の宵宮・石川温水プール・薬師堂の太鼓・乳井から観た秋の岩木山や田んぼの風景
- ・大沢獅子舞・大沢の駄菓子屋・桂清水・小金崎の大人・焼きそばの店
- ・石川剣道クラブ・大仏公園のあじさい・平川・石川八幡宮・高速道路
- ・弘南電鉄の陸橋とJRの電車が交差するところ……



石川陸橋を通るラッセル君とJR電車が交差する「撮り鉄」にはたまらない景色

先進校視察研修に行きました

11月29日(水)、中学校の東海教頭がコミュニティ・スクールである由利本荘市立東由利中学校(秋田県)に研修に行きました。「コミュニティ・スクール導入のねらいが、『学校が地域活性化の一翼を担い、地域と共に歩む存在になる』ということで、地域全体を巻き込んだ「小中合同駅伝大会」(地域学校協働活動として実施)など子どもを学校と地域と一緒に育てていくための活動の工夫が多くあった。」という所感・報告がありました。参考にしていきたいと思えます。



新築された校舎



5. 小中合同駅伝大会 (6) 当日の様子 小学生から中学生へ

小中合同駅伝大会の様子。園児・高齢者等地域の方の応援の中、走ります。(2016全国CS研究大会発表資料より)

第2回小中連携・一貫教育研究協議会を実施

12月6日(水)、小学校を会場に、授業参観、5分科会、全体会を行い、来年度からの小中一貫教育をさらに推進・充実させるため、次の内容について話し合いました。

○分科会の話合い内容とメンバー

部会	主な話合いの内容	小学校	中学校
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・石川スタンダード「あじさい」のある授業づくりについて ・諸調査の分析とデータの共有について ・道徳の教科化、別葉の作成について 	藤林菜穂子 佐藤 一光	後藤 伸也 七戸 将光 笹森奈緒子

生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ、不登校、生徒指導上の問題についての情報交換 ・引き渡し訓練の反省 ・スマホ、ケータイの課題、情報モラル教育について ・冬休みのきまり、あいさつ運動について 	一戸 庸史 葛西 裕子 相福由美子	太田奈菜子 穂元 智子 齊藤 安衣
特活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動について ・中学校の立会演説会、中体連壮行式の小学生の参加について ・小学校運動会への陸上部の参加について 	三上 礼子 赤平比佐子 小沼 純子	間山 克朗 川村 幸恵
特別支援	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度新入生についての情報交換、受入れ体制の準備について 	山口 登	高橋 浩幸
三役会	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り入れ授業について→数・英・理・音を実施 ・登下校中のJアラート対応について ・第3回学校運営連絡協議会について ・健全育成協議会について 	相馬 伸光 猪股 健 石郷岡修二	松山 正男 東海 孝尚 外崎 聡



学習指導部会

石川スタンダード「あじさい」のある授業づくり（案）

あ「あっ！」
 疑問や気づき、そして発見、たくさんの「あっ！」がある授業
 じ「じっくり」
 じっくりと考え、頭の中がアクティブになる授業
 さ「さあ、いっしょに！」
 仲間と一緒に対話をしながら学習課題の解決に迫る授業
 い「いいね！」
 わかった自分、できた自分、協力できた自分に「いいね！」と言える授業



熱心に参観する中学校の先生方

ICTを使用したビジュアル感のある道徳

中学校の先生の感想



「子どもの発言を丁寧に聞き、丁寧な言葉で返し、丁寧に板書していた」「子どもの発表内容を対話をしながら確認していた」「子どものつぶやきをしっかりと拾っていた」「掲示物が工夫されていた」などの感想がありました。

○全体会で来年度からの「弘前市教育委員会が進める小中一貫教育」について確認しました。手段 CS

①めざす子ども像の共有



12歳の姿

小中一貫

15歳の姿



○夢や希望をもち、意欲的に学習に取り組む、自分の考えを進んで発表できる子ども
 ○基本的な生活習慣を身に付け、思いやりの心をもつ子ども
 ○石川小学校や地域に愛着をもつ子ども
 ○健康な生活に努め、ねばり強く最後までがんばる子ども

○将来への憧れ・夢・希望・目標をもち意欲的に学習に取り組む、自分の考えや思いを豊かに表現できる生徒
 ○時と場に応じた挨拶・返事・言葉遣いができ、思いやりの心をもつ生徒
 ○石川小・中学校や地域に誇りと感謝をもつ生徒
 ○自己の健康管理・安全管理に努め文武両道に根気強く取り組む生徒

目的・目標

②3つの教育プラン

○「小中一貫3つの教育プラン（知・徳・体）」を通して、義務教育9年間を一貫した教育で子どもを育てます。

～小中一貫3つの教育プラン～

【知】「協働して能動的に学ぶ子」を育てるために、授業づくり・集団づくりを共有します。

【徳】「弘前が大好きで夢に向かってチャレンジする子」を育てるために、ひろさき記学の実践を進めます。

【体】「命を大切にする健やかな子」を育てるために、健康教育（弘前式健康教育コアカリキュラム）を推進します。

※すぐに施設が一体となるとか、例えば中学校の先生が小学校に行って、通年で〇〇の教科を教える、というわけではない。

小学校では「15歳の姿」を前提とした「12歳の姿」設定しました。

施設一体型の校舎、小中の両方で授業ができる先生がいること、これが実現されることで本格的な小中一貫教育が推進できると思います。